あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

○○41

第3章・ゆとり教育世代の見えない学力

専念

夢を探すため人に会う

多感な時期こそ熱中して

「来春の高卒求人、倍率0・67倍に下落」という報道がありました。世間では雇用が厳しい、就活が厳しいと言われています。特に就職を控えた子どもを持った家庭では心細くなっている方々も少なくないと思います。この求人倍率とは全国平均で、就職を希望する高3生100人に対し67件の求人があるということのようです。平均ですから、都道府県別に見ればやはり東京が2・23倍もあります。そして同様に大阪、愛知など大都市圏には求人が多く、青森は最下位の沖縄0・12倍の次に低い0・21倍。つまり、この地域では就職したい高3生100人に対して、仕事は21件しかないという本当に厳しい現実を意味しています。しかし、ゆとり教育世代の子どもたちには、どうも親の世代とは異なる背景があるようです。

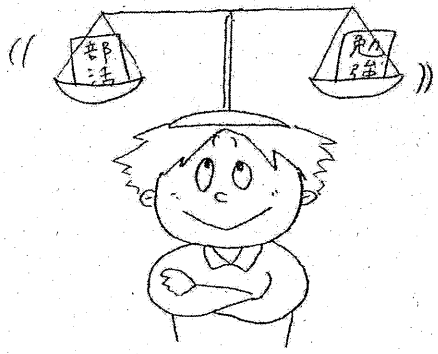
志学塾では、今週は連日2組ずつ学習相談がありました。志望校最終決定を目前に控えた中3の親子からは、志望校の合格可能性を聞かれます。親は〝入れる学校〟を知りたいのでしょうが、私はまず本人に「行きたい学校は？」と聞くことにしています。次に「なぜ？」と志願理由を話させます。大学進学や部活動を理由にあげながら自分の考えを話す子もいますが、親の顔をのぞき込み「何だったっけ？　あ、近いから」と話す子も少なくありません。また、煮え切らないわが子の態度に我慢できずに「やる気がないなら、もう塾も辞めさせて…」といきなり結論を持ち出す親御さんも。

また、中2、中1の親御さんからは「毎日毎日家で寝てばかりなら、習い事が忙しくなるんでそっちに専念させようかと。塾はお休みして」など。三者面談の席では、どうしたら家でもやる気を見せてくれるのかという子育ての悩み相談が続きます。

今の子どもたちを取り巻く環境は、安全で便利が第一の安心できる生活環境です。その中で、勉強、運動、習い事とわが子の幸せな人生のために、親は「この子のやりたいことをやらせたい」と願いながら子育てにいそしんでいるはずです。しかし、子どもは「やりたいことは決まっていません！」と答えるので、それを受けた親は「何かに専念させたい」と思い悩んでしまうようです。結果、子どもの環境を整えようと目の前の障壁を取り除こうとしてしまうことも。

子どもが夢を探すためにはどうしたら良いでしょうか。私は〝人に会う〟ことだと思います。出会いが人生を変えることは多いはずです。中国では昔から「水が清らかすぎれば魚はすまないし、人が潔白すぎれば仲間はできない」と言われています。プランクトンも繁殖しない清らかすぎる水では、確かに魚が姿を隠す場所もありません。親の思う「専念」とは、子どもには多感な時期こそ何かに熱中してほしいという親心だと私は考えています。

（畑山篤＝志学塾塾長）



by yoriko

避

紛争で住
は、世界に
われる。そ
じてもらお
ナを使った
が東京都文
学で開かれ
は平和の尊
を感じ取っ

同大は10月
強化月間と定
際問題を発信
い」（羽入佐和
「国際難民支
（東京都港区
月末日に教室
RIJなど
用コンテナが
び込まれ、多
られた紛争地
で過ごす避難
学校教育を受
業訓練に励む
が展示された

コンテナの
高等弁務官事
R）が避難地
テントが張ら
ル、広さ8畳
布や食器、蚊
トルも置かれ

一日で小学
約200人が

ニュース なぜなに

教育

が、軍は選挙の結果を無視して、政権に居座ってきました。

今回の選挙で、軍は、民主的な国になることを目指す、と主張しています。けれど、選挙の前に新しい法律を作って、スー・チーさんが参加でき

前に現れたアウン・サン・
一11月13日、ミャンマー・